

## いじめ防止対策事業

開始年度 H27 終了年度 H32 実施計画 復興計画

総合戦略 ○

担当部	教育委員会
担当課	学校教育課
担当係	学校教育係

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項目	01 教育総務費
目	02 事務局費

政策	03 歴史・文化を継承し 豊かな心を育むまち
施策	02 学校教育の充実
基本事業	04 教育相談体制の充実

事務事業の開始背景、根拠	事務事業の改善改革経過、全体計画
平成23年10月、滋賀県大津市で中学2年生の男子生徒がいじめを苦に自殺したのを契機に、学校及び市教育委員会の対応について、不徹底な事実解明、主体性の欠如、隠蔽体質等の批判が高まり、全国でいじめをめぐる問題が深刻化したことから、「いじめ防止対策推進法(平成25年法律第71号)」が平成25年6月に公布され、同年9月に施行されました。	平成26年4月1日 市立各小中学校いじめ防止基本方針策定(いじめ防止等の対策のための組織含む) 平成27年11月 多賀城市いじめ防止基本方針策定 平成27年12月 多賀城市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例制定

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（27年度の取り組み）
いじめ行為により心身の苦痛を感じている児童生徒及び保護者	・多賀城市いじめ防止基本方針策定 ・いじめの防止等への組織的対応のための関係条例制定 ・多賀城市いじめ問題対策連絡協議会の設置及び会議の開催(1回)
意図（事業実施により対象をどのような状態にしたいのか） 児童生徒一人一人が、元気で明るく学び、健やかに成長しています。	・多賀城市いじめ問題専門委員会の設置及び会議の開催(1回) ・いじめ防止マニュアルの作成及びいじめアンケート実施に向けた準備 ・市立小中学校のいじめの現状把握

## ○活動指標、成果指標、事業費の推移

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度
			実績	実績	実績
対象指標	A 児童生徒数（5月1日現在）	人			5,239
	B				
活動指標	C 市立小中学校での「いじめ問題対策委員会」の開催回数	回			63
	D 多賀城市いじめ問題対策連絡協議会の開催回数	回			1
	E 多賀城市いじめ問題専門委員会の開催回数	回			1
成果指標	F いじめ解消率	%			95.8
	G				
付記事項		事業費	合計	千円	31
		国支出金	千円		
		県支出金	千円		
		地 方 債	千円		
		そ の 他	千円		
		一般財源	千円		31
		正職員人工数	人工		0.45
		正職員人件費	千円		3,600
		トータルコスト	千円		3,631

## ○これまでの取り組みの評価

事業状況	□ 順調である	
	■ 概ね順調である	いじめへの対応として早期発見、初期対応により、重大事態発生を防いでおり、小中学校では教職員対応力向上を狙いとした教職員の研修会等を実施しているため、概ね順調な状況です。
	□ 順調ではない	
成果向上	□ 向上余地は大	「いじめはどこの子供にも、どこの学校にも起こりうるものである」との認識を持って、全ての児童生徒を対象としたいじめの未然防止取り組むことがなによりも重要です。特に児童生徒をいじめに向かわせることなく、心の通う対人関係を構築できる社会性のある人間への成長を促しながら、いじめを生まない土壤を作っていくためには、教職員をはじめ関係者の連携による継続した取組みが必要であり、これまでにもケース毎に実践していることから向上の余地は小さいです。
	□ 向上余地は中	
	■ 向上余地は小	

## 小学校環境整備事業

開始年度 H27 終了年度

実施計画 ○ 復興計画

総合戦略

**担当部** 教育委員会  
**担当課** 教育総務課  
**担当係** 総務企画係

会計 款 項 目	01 一般会計 10 教育費 02 小学校費 01 学校管理費
-------------------	--

政 策 施 策 基本事業	03 歴史・文化を継承し 豊かな心を育むまち 02 校舎教育の充実 05 教育環境の整備
--------------------------	--

事務事業の開始背景、根拠	事務事業の改善改革経過、全体計画
小学校の設置者である多賀城市は、校舎等の施設の環境の整備を実施し、教育環境の充実に努めなければなりません。	各小学校の施設、設備の充実を図るため、平成28年度中に策定予定の公共建築物総合管理計画に基づき、引き続き計画的に整備を行います。なお、平成28年度まで本事業で整備を行ってきた、小学校校務用パソコン等については、平成29年度からは本事業から切り離すことで、目的・成果の管理を行っていきます。

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（27年度の取り組み）
学校施設、児童、教職員	各小学校施設の環境を整備するため、学校施設等の修繕・工事及びパソコン等の借上を実施しました。
意図（事業実施により対象をどのような状態にしたいのか）  児童が適切に環境が整備された教育環境で学ぶことができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設等計画修繕</li> <li>・パソコン等借上料</li> <li>・小学校施設等工事</li> </ul>

## ○活動指標、成果指標、事業費の推移

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度
			実績	実績	実績
対象指標	A 学校数	校			4
	B 児童数	人			1,971
活動指標	C 環境整備件数	件			19
	D				
	E				
成果指標	F 授業及び学校生活に支障を来たした件数	件			0
	G 施設が原因による事故件数	件			0
付記事項			合計 千円		21,994
			国支出金 千円		
			県支出金 千円		
			地方債 千円		
			その他 千円		
			一般財源 千円		21,994
			正職員人工数 人工		0.15
			正職員人件費 千円		1,200
			トータルコスト 千円		23,194

## ○これまでの取り組みの評価

事業状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調である	事業及び学校生活に支障を来たさないよう、施設が原因による事故がないように、計画的に環境整備を実施しています。
	<input type="checkbox"/> 概ね順調である	
	<input type="checkbox"/> 順調ではない	
成果向上	<input type="checkbox"/> 向上余地は大	
	<input type="checkbox"/> 向上余地は中	実測値に基づく成果指標であり、現状で発生件数無しであることから、向上の余地は小さいです。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地は小	





















